



きたそらち

2020
12月号
No.237

～農業振興を通じて地域社会へ貢献～



11月7日と8日の両日、青果部集荷施設や道の駅「ライスランドふかがわ」など深川市内3か所を会場に、深川市特産「ねばり長芋」の即売会が開催された

→記事の詳細は3ページ

農業振興を通じて
地域社会へ貢献

20th

JAきたそらち創立20周年
- SINCE 2000 -

JAきたそらちでは、
ホームページとFacebookで、
魅力満載の情報を発信中です！
ぜひ、ご覧ください！

ホームページ



Facebookもチェック



目次

- 「JAきたそらち地域農業応援団」
第4回応援団会議 …………… 2
- 「ねばり長芋」即売会 開催 …………… 3
- JAきたそらち青年部・女性部
「ホクレンくるるの杜」で農産物フェア …………… 5
- JAきたそらち女性部 支部長研修 …………… 7

1市2町に 令和2年産米の作況報告・新米贈呈



10月27日と28日、柏木孝文組合長をはじめ役員が深川市・雨竜町・北竜町を訪問し、令和2年産米の作況報告と新米贈呈を行った。

深川市では、深川産新米「ふっくりんこ」5kg、「ゆめびりか」5kgを手渡し、受け取った山下貴史深川市長は「今年も美味しい新米をいただきありがとうございます。今年の新米は美味しいとよく聞く。明年以降も美味しいお米作りに励んで下さい」とお礼を述べた。

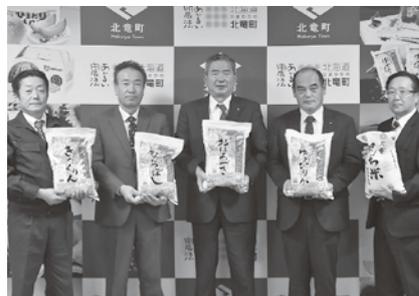
柏木組合長は2年産米の作況について、「今年は天候にも恵まれ、近年にはないほど良いお米が収穫できた。コロナ禍の中、米価の関係等で手放しには喜べないところではあるが、明年以降も良いお米作りに励みたい」と話した。



10月27日 深川市



10月28日 雨竜町



10月28日 北竜町

「JAきたそらち地域農業応援団」 第4回応援団会議



11月16日、准組合員を対象にした交流活動「JAきたそらち地域農業応援団」の第4回応援団会議が開催された。今回は団員7名が出席し、当JAイチヤン加工室で地場産大豆を使った「豆腐」「卵の花」の加工体験と、JAきたそらち女性部の活動内容についての紹介を行った。

加工体験では、JA女性部のイチヤン販売グループのメンバーより指導を受けながら、大豆のすりつぶしから豆腐・卵の花をつくり上げるまでの一連の作業を体験した。料理はベテランの団員達も加工室の大きな釜や柄杓の取り扱いには苦戦した様子であったが、体験中には、細かな作業工程や家庭での手作り豆腐の作り方を質問し、また出来立ての豆乳の試飲など、販売グループのメンバーとの交流を深めた。

今回は、新型コロナウイルス感染症対策のため、加工室での試食や販売グループとの意見交換は行わず、各自出来上がった豆腐と卵の花を持ちかえていただくこととし、団員からは「楽しかった」「自宅に帰って食べるのが楽しみ」との声が聞かれた。

加工体験の途中には、農業振興部営農企画課の墓田真知子調査役より『女性のかで地域のコミュニティを育てる』と題し、JAきたそらちの女性部活動と女性大学の取り組みが紹介された。墓田調査役は、「女性部はJAを拠り所として、食や農、暮らしにかかわる願いや課題をみんなで解決していく組織です。一般の方や准組合員の方でも加入できます」と話し、本年から開校したJA女性大学「カレッジあみていえ」では、一般女性市民や女性農業者など30名が一期生として参加しており、毎回楽しく、真剣に授業を行う様子を写真付きで紹介し、二期生の参加を呼び掛けた。



ふかがわアップルフェスタ2020

青果部

10月24日、25日、31日、11月1日の4日間、深川市道の駅「ライズランドふかがわ」で「ふかがわアップルフェスタ2020」が開催された。りんごが旬を迎えるこの時期に深川市果樹協会（田川大輔会長）が毎年主催するイベントとなっているが、今年は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点より、恒例の「りんご詰め放題」や「りんご皮むき大会」などのイベントや試食販売を中止し、密を避けるため4日間に分けて開催することとした。また来場客にはマスクの着用やソーシャルディスタンスを保つための整列を呼び掛けた。



店頭には「紅将軍」や「おいらせ」、「もりのかがやき」など17種類、約2,500商品のりんごが並び、来場客は販売担当に「どれが一番甘いですか?」「歯ごたえが良い品種はどれですか?」など、それぞれの特徴を聞きながら好みの種類を購入した。人気の品種「紅将軍」は1ケース5kgでの販売も行われ、1度に何ケースもまとめ買いする姿が見られた。市内から来場した女性は、「皮むき大会に参加できなかったのは残念だが、地元的美味しいりんごをたくさん買って満足」と笑顔を見せる。

深川産りんごは当JA果樹生産組合（曾我部好美組合長）の12戸が栽培しており、9月下旬から10月下旬をピークに11月上旬まで収穫作業が行われた。今年は夏の長雨の影響で防除管理が大変難しい年だったが、台風も上陸せず秋には好天が続いたため豊作傾向な年となり、品質については果肉が柔らかめではあるものの多汁でジューシーな食味となっている。なお、収穫されたりんごは、市内果樹園の直売所や旭川・滝川市場を中心に販売されており、近郊ではイオングループのスーパーマーケットなどで販売されている。



【青果課 植田】

青果部

深川市特産「ねばり長芋」即売会

11月7日と8日の両日、青果部集荷施設や道の駅「ライズランドふかがわ」など深川市内3か所を会場に、深川市特産「ねばり長芋」の即売会が開催された。

「ねばり長芋」は強い粘りと甘みが人気で、穫れたてを特価販売する同イベントには、開場前から長蛇の列を作るほど毎年多くの買い物客が来場する。今年は新型コロナウイルス感染症対策として、来場客に整理券を配布して入場制限を行い、またマスクの着用や手指の消毒、ソーシャルディスタンスを保つよう呼びかけた。



会場では、3Lや4Lなど大きいサイズ中心に販売され、来場客は贈答用などにおすすめの規格や保存方法などを販売にあたった生産者やJA職員に聞きながら好みの物を購入した。販売開始から30分で完売する規格も出るほど盛況を見せた。

「ねばり長芋」は長いも生産組合（馬木逸男組合長）の組合員8戸が3.2haに作付けしており、10月29日より深川市MEM地区で掘り取り作業が始まった。今年は春の低温と干ばつにより生育が心配されたが、その後は天候が良く近年にないほど大きな規格の収穫となった。また1日には青果部集荷施設で共選作業も始まり、道内の市場を中心に1万2千ケースを出荷し4千2百万円の売上げを見込む。

【青果課 楠木】



「北育ち元気塾」 第6回研修会

**農業
振興部**

10月27日、北育ち元気塾の第6回研修会が行われ、塾生など計7名が出席した。今回は視察研修として上川郡比布町の上川農業試験場及び(有)西間農園にて研修を行った。

上川農業試験場では研究主幹の宗形信也氏より「水稻品種改良の概要説明及び施設見学」をテーマに研修を受け、水稻品種の歴史や実際に品種改良が行われている施設の見学を行った。また(有)西間農園では代表の西間互氏より「(有)西間農園について・GAPの取り組み」について農園内の設備を見学しながら講話を受けた。

塾生たちは「一つの品種が出来るまでの苦難を理解できた」、「身近にはない経営方法について学習できた」などと感想を述べた。



【営農企画課 石野】



新風



農家後継者



氏名 徳重 雅也 さん

年齢 27歳

就農年 令和元年8月

地区 幌加内支所 南幌地区

経営主 徳重 久美子さん

経営面積

14 ha (そば)

☆目指す農業

就農以前は、自衛官として勤務しておりました。就農時は父が他界し機械の使い方や肥料の量等、右も左もわからない状態でしたが、周りの農家の方々や農協職員のご指導のおかげで、播種から収穫まですることが出来ました。

将来の目標は農地の拡大や様々な作物に挑戦し、作物の収量確保・安定した経営を目指していきたいと思っております。

まだまだ技術・知識共に未熟ですが、先方からの助言を吸収し1日でも早く立派な生産者になれるよう頑張っていきたいと思っておりますので、皆様のご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

【新規就農希望者受入農家・新規就農希望者募集】

JAきたそらちでは、JAホームページ・新農業人フェア等で新規就農者の募集をしております。新規就農希望者を受入れていただける生産者を募集しておりますので、人材確保に不安をお抱えの方はお気軽にご相談ください。

また、新たに従業員を確保される予定がある方へ、活用可能な事業をご紹介しますので、合わせてお問い合わせください。

- ◇ 問い合わせ先：農業振興部 営農企画課【TEL：0164-26-0134】
- ◇ ホームページ：<http://www.ja-kitasorachi.com/farmer/index.html>



青年部
だより

JAきたそらち青年部

くるるの杜で農産物フェア開催

10月18日、北広島市のホクレンくるるの杜にて当JA青年部が「JAきたそらち農産物フェア」を開催し、部員16名が参加した。

深川産「ふっくりんこ」、雨竜産「ななつぼし」、北竜産「おぼろづき」の新米や幌加内産そばをはじめ、JAきたそらち産の野菜・果樹など多種多様な農産物を販売した。また店頭では、青年部のPR動画を流し、お買い上げいただいた来場客にはファームレターと当JA管内4市町のパンフレットを配布した。

今年度については、新型コロナウイルスの影響で開催が心配されたが、消毒液の設置やマスクとビニール手袋の着用など万全の感染症対策を講じながら、きたそらちの農産物を十分にPRした。

【営農企画課 石野】



北ブロック青年部と 拓殖大学北海道短期大学との意見交換会



11月16日、拓殖大学北海道短期大学にてJA空知青年部連合会北ブロックと拓殖大学北海道短期大学との意見交換会が開催され、JA北ブロック青年部員13名と拓殖大学北海道短期大学環境農学コースの学生35名・国際学部農業総合コースの学生19名が参加した。

開会にあたり、JA空知青年部連合会北ブロックの松平昌広代表理事（JAきたそらち青年部雨竜支部長）が農協青年部組織についての説明や青年部活動を紹介した。その後4班に分かれ、「地域農業の現状と将来目標達成に向けて～いつ、なにを、どうやって～」をテーマに意見交換が行われ、それぞれの班で部員が就農からの実体験や心境の変化を話し、それを基に学生の農業に対する思いや農業の可能性について話し合った。

学生たちは「青年部の活動や入部するメリット等について知ることができ有意義な時間であった」、「意見交換を行っていく中で農業においても人や地域とのつながりが大切だと感じた」など感想を述べた。

【営農企画課 石野】



女性部北ブロック 支部長交流会 開催

10月26日、JA女性部北ブロック支部長交流会が開催され、当JA女性部から8名、JA北いぶき女性部から3名の支部長が参加した。今回は、沼田町の「まちなかほっとタウン」多目的ホールでそば打ち体験に挑戦した。

「沼田雪中そば倶楽部」のメンバーを講師に迎え、「水回し」と呼ばれるそば粉をこねる作業のコツや生地伸ばし方、切り方など指導を受けながらグループごとに協力し楽しく体験した。初めてそば打ち体験をする参加者が多く、



こねる際の手の動きやスピード、包丁の使い方などに苦戦しながらも自分好みの太さでそばを切り「難しかったけど、とても楽しかった」と感想を述べる参加者もいた。

そば打ち体験の後、同町「ほろしん温泉」にて行った懇親会では、新型コロナウイルスの影響を受けた中で、今年はどういう行事を行ったかなど、お互いの活動状況を報告し、「思うように活動できないができることは楽しもう」などとお互いを励まし合った。

【営農企画課 佐藤】



「ふれあいお便り運動」 終了のお知らせ

平成15年から実施しておりました「ふれあいお便り運動～使用済み切手・プリペイドカード回収」につきまして、寄贈先の（公財）ジョイセフが令和3年3月31日をもって回収を終了することになり、この状況を踏まえてJA空知女性協議会でも令和2年12月末日までに回収を終了することとなりましたのでお知らせいたします。

なお、お手元にある使用済み切手等は、令和2年12月末日まで各女性部事務局及び当JA金融共済店舗窓口にある使用済み切手回収箱へ入れてくださいますようお願い申し上げます。

長年にわたりご協力いただきまして誠にありがとうございました。

【営農企画課 墓田】





JAきたそらち女性部 支部長研修

女性部長 宮田 浩子 (深川支部)

11月4日～6日にかけて2泊3日でJAきたそらち女性部支部長研修を行いました。今回は支部長7名の参加でしたが、道東方面において講習や工場見学をするなど大変有意義な研修になりました。

1日目は、置戸町の食のアドバイザー佐々木十美氏に「食は命『本物の味を子どもたちに』」と題し、出汁の取り方や乾燥野菜の使い方などを、実際に試食を通して教えていただき、味の違いなどを学びました。

佐々木氏はNHK「プロフェッショナル」の仕事の流儀」で『日本一の給食』を作る女性として紹介されており、現在は置戸町給食センターの栄養士を退職され食のアドバイザーとして商品開発や講演活動を行っているそうです。佐々木氏には以前、当JA女性部本部の総会や幌加内支部などに講演に来ていただいていたため、気さくに私たちの質問に答えていただきました。また出汁や調味料の試飲のほか、試作中だという乾燥野菜を試食させていただきました、そのまま食べると甘くて美味しいので体に良いおやつになることや、出汁で戻した時の食感や味の変化など多くのことを学ぶことができました。

次に訪問した網走市の「北方民族博物館」では、同館が北方地域を専門とする点で日本では唯一の、そして世界的にも数少ない民族学博物館ということもあり、アイヌ民族だけでなくイヌイト(エスキモー)など様々な民族の衣装、生活道具などを見学しました。

2日目は、「博物館網走監獄」を訪問しました。当時の過酷な労働環境や生活の様子に支部長の皆さんも真剣に見学しており、時には本物のそっくりの人形に驚かされながら、あっといふ間の滞在時間でしたが見学を楽しみました。

次に、清水町の「福太郎株式会社小清水北陽工場」を見学しました。本社は福岡県にあり明太子せんべいの「めんべい」で有名な株式会社山口油屋福太郎です。小清水町の品質の良い馬鈴薯澱粉を仕入れることになってから小清水町との交流が始まり、平成12年に廃校となる小学校を工場として再生させることになったそうです。工場内部は当時16名の在校生に絵を描いてもらったという内装が施されているため、無機質な工場が明るく感じました。同工場で製造されている「ほが

じゃ」という商品は、北海道内の各地のお土産屋さんなどで販売されていますが、工場内に直営店も併設されているため、皆さん沢山お土産を買われていました。また道中で、硫黄の匂いが漂うアトサヌプリ(硫黄山)に立ち寄り温泉たまごを食べ、宿泊地の阿寒へ向かいました。

最終日は浦幌町にある「浦幌フリーズドライ株式会社」の工場を訪問しました。こちらは農産物をフリーズドライ(真空凍結乾燥)加工する会社で、全員衛生着に着替え、製造ラインを間近で見学させていただきました。視察当日は「柚子」の皮を加工する作業を行っていたためとても良い香りがしていましたが、食材によっては数日間臭いが染み付いてしまうと担当者の方が苦笑いしていました。最後に、雨竜米と北竜米を取り扱っていた音更町のスーパーマーケット「株式会社ハピオ」を表敬訪問し、現在の販売状況やイベントでの新型コロナウイルス感染症予防対策状況などを伺い、今後も末永くお付き合いいただけるようお願いし帰路につきました。

今年度は2泊3日で開催した支部長研修ですが、長距離の移動の車中では楽しくおしゃべりし、ホテルの部屋でも集まっては夜遅くまで語りあったことはとても良い思い出です。

新型コロナウイルスにより開催も危ぶまれましたが、環境を整え視察させていただいた受入れ先の皆様に感謝申し上げますとともに、支部長研修の機会を与えていただいたJAの皆さんに感謝いたします。ありがとうございました。





稚内市でうりゅう米のPR販売

11月10日と11日の2日間、当JA雨竜支所が稚内市の相澤食料百貨店にて、令和2年産「うりゅう米」新米のPRイベントを開催し、うりゅう米生産組合の役員と同支所営農課職員が参加した。

同百貨店では、日頃よりうりゅう米「ななつぼし」を取り扱っていただいております。参加した生産組合役員や営農課職員は、「おかずを引き立てる」「あっさりしていてほどよい粘り」など他の品種との違いを直接PRしながら販売し、2日間で約200kgを売り上げた。

また今回は新型コロナウイルス感染症対策として、従来の試食販売や新米すくい取りを中止した代わりに、当日会場ですりゅう米を購入した来場客を対象にハズレなしで景品が当たる「うりゅう米ガチャガチャ抽選会」を実施し、こちらでも好評だった。

例年この時期は、生産者と一緒に各地で対面販売を行う新米イベントを開催しているが、新型コロナウイルス感染拡大の危険性を重視し一部のイベントを中止としている。直接出向いて販促イベントを行うことが難しいが、コロナ禍でもできるPR方法などを今後考えていきたい。



【雨竜支所 佐野】



北竜町ひまわりライス生産組合・北竜町もち米生産組合 北竜町内福祉施設へ新米贈呈

10月30日、北竜町ひまわりライス生産組合(北清直人組合長、組合員120戸)と北竜町もち米生産組合(藤井明紀組合長、組合員8戸)が、町内の特別養護老人ホーム永楽園と認知症高齢者グループホーム碧水に、「ななつぼし」と「風の子もち」の新米を合わせて160kg贈呈した。

両生産組合では、地元の新米を食べていただきたいと毎年贈呈を行っており、福祉施設の入居者に喜ばれている。当日は北清組合長と藤井組合長が施設を訪問し、「今年もおいしいお米ができました」と新米を手渡した。両施設からは「いつもありがとうございます。おいしくいただきます」とお礼の言葉をいただいた。



特別養護老人ホーム 北竜町永楽園



認知症高齢者グループホーム碧水

【北竜支所 星野】





幌加内町うるち米生産組合・幌加内町もち米生産組合

幌加内町教育委員会へ新米贈呈

11月19日、幌加内町うるち米生産組合（北村守組合長、組合員4戸）と幌加内町もち米生産組合（古林茂組合長、組合員19戸）が幌加内町教育委員会へ同町産「ゆめぴりか」と「はくちょうもち」の新米をそれぞれ30kgずつ贈呈した。両生産組合長は、「今年も美味しいお米ができました、子供たちに味わってもらってください」と小野寺倫久教育長に手渡した。

贈呈された新米は、12月上旬に同町の小・中学校の給食で振舞われる。

【幌加内支所 岩本】



JAきたそらち金融共済店舗・ATM 給油所、農産物直売所「eciR」、資材店舗

年末・年始の営業時間について

当JA金融共済店舗・ATM、給油所、農産物直売所「eciR」、資材店舗における「令和2年度 年末・年始 営業時間」につきましては、改めて組合員FAX、JAきたそらちホームページ、JAきたそらちFacebookページでご案内いたします。





教えられた協同組合精神

「コロナ禍を初め、何かと予想だに
しなかった出来事が多かった令和2
年。早いものでその年が終わろうと
しています。迎える新年はこのコロ
ナ禍が一刻も早く収束し、一年遅れ
にはなりませんが、全世界がそれを克
服した証として東京オリンピックが
開催され、かつての正常に少しでも
近づくことが出来ればと願ってお
ります。

ところでこうして年末を迎える
と思いがちです。あれはも
う20年以上も前のこと。農業者に
とつてのJA中央会のように、それ
に似た中小企業に向けた組織として
中小企業団体中央会があります。私
は創業当初、中小企業診断士とい
う資格で看板を掲げ、商店街の活性化
などに取り組んできました。皆さん
の近くでは土別市での事業のお手伝
いをしたのをはじめ、函館朝市や釧
路にある和商市場など、多くの協同
組合で「隣の店はうちの店の発想を
」等をタイトルに講演などをしてき
たところです。この北海道中小企業
団体中央会には地域毎に幾つかの支
部があります。その、ある事務所長
と「年末でもあり、『こ苦勞さん会』
を」といつとで久しぶりの会食へ。
一次会では大好きな寿司に舌鼓をう
ち、その後は定番になっているカラ
オケのあるスナックへ。彼はピアノ
調律師の資格を持つ異色の人で歌唱
力は抜群。私が青春時代を思いおこ
し、昔懐かしいグループサウンズの
曲を歌おうものなら、早速、近くに

あるマイクを手にとりハモったりし
たりする人でした。楽しい時間は一
気に過ぎ、やがて「先生、そろそろ
おひらきにしましょうか？」とい
うことで店外へ。「いざ、タクシーを」
ということ待つかとしばし。やが
て待ちにまつた空車のタクシーが
やってきました。でも手をあげる仕
草をするわけでもなく、見ても素知
らぬふり。「いつたい、この寒空に
何をしているのだろう？」と思っ
ていると、やがて別のタクシーがや
てきました。そうしたら先ほどとは
違い、身を乗り出し勢いよく手をあ
げるではありませんか。それは「カ
タツムリ」のマークがある個人タク
シーでした。個人タクシーは法人化
をした会社組織とは異なり、各々の
事業主が構成員となり、協同組合と
して組織を作り運営されているので
す。その時に初めて知りました。「彼
にとつてはタクシーといっても意味
が違うのだ」と。それを感じた私は
申し訳なさと共に、そんな基本的な
ことも感知できない自分に恥ずかし
さを覚えたものです。個人タクシー
の人に支えられ、自分の仕事があ
るいは自分の生活があるという彼
の信念にも似た考え方と、「中小の
企業が一つになり協同組合を作り、
その恩恵に預かっている」…そうし
たある種の使命感や誇りのようなも
のを彼の言動が教えてくれたので
す。

いかがですか？同じ協同組合と
いっても農協のそれとは違つかもし
れませんが、どこかで「協同組合と
は？」を教えてくださいませんか。

私達は共に、農業者が集い、一緒に
活動をしている組合員です。この競
争社会の中にあつて、購買にしても、
共済にしても、「別のところの方が」
という発想が思い浮かぶのはわか
らない訳ではありません。でもそう
した考え方が広がっていくと、ジワ
ジワとJAが持つ力を弱め、真綿が首
を絞めるように、あなたの今後の営
農に影響を与える可能性大です。組
合を構成する一人として、それらの
利用度合いをより高め「自分達の農
協」にしていくことが大切です。こ
のように協同組合の基本である「相
互扶助の精神」が風化していかない
ようにするのは、誰の為でもない。
今、これを読まれているあなた自身
の為なのです。そしてそれを支える
農協職員個々も、組合員の方々に
「信頼のおけるパートナー」とし
て、その自負心を忘れず、さらに互
いに磨きをかける人であつて欲し
い。ちなみに私は、門外漢ながら協
同組合をこんな風に感じています。
同じ100歩の前進であつても「1
人の100歩よりも、100人での
1歩を」と。2020年の師走にあ
たり、JAきたそらちの皆さんに期
待をこめ、今回はメッセージを送ら
せて頂きました。

この冬は例年のインフルエンザに
加え、新型コロナウイルスがダブルでや
ってくる「ツインデミック」が予想され
ます。互いに健康に留意をし、くる
令和3年は、本年に倍する喜びに溢
れる年でありますように。

【著者】石田邦雄 (いしだくにお) 氏

1946年北海道新得町生まれ。(有)石田コンサルタントオフィス代表取締役、めでの研究室主宰。
国鉄、会計事務所を経て中小企業診断士として独立開業。

現在は社会保険労務士、キャリアコンサルタントとして、組織改革や人材育成に携わる。人と企業の
マッチングを目指し、中小企業大学校を初めJAカレッジなど、多くの団体、企業と携わる。「教
えるよりも考える」、「学ぶより気づく」を柱に、体験学習を交えたわかりやすい研修が特徴。著書に「産
業カウンセリング」や「縁を紡ぎ、人を育む」など多数。



JA職員 農作業実習報告 第2回

先月号に引き続き、若年職員(採用2年目)を対象としたJA非常勤役員宅における農作業実習につきまして、各実習生の感想や今後の抱負をご報告させていただきます。

①実習先 / ②実習期間 / ③作業内容 / ④感想

金融共済部 渉外課 安藤 理沙 (平成31年4月入組)

①深川支所多度志地区 遠藤 良明 地区代表理事宅(農事組合法人米道産) ②令和2年5月18日～5月22日

③田植え作業

④苗箱をはがす作業では、場所によって根が張りしがしにくい箱があり苦労しました。また田植え機の苗補充作業では、単に苗箱をいっぱいにするだけでなく、ぬかる場所では田植え機を軽くするため補充を控えたり、バランスを取るために体重を移動させたりするなど、決して単純ではない作業に苦労したのと同時にやりがいを感じました。

実習を通じて、普段の渉外活動では経験できない出会いがあり、同じ作業をする一員としてコミュニケーションを取れたことを嬉しく思いました。また、実習で関わった方々から共済の契約や相談をいただき、日常の業務と離れた場面での活動も重要であると改めて実感することができました。

今回の実習を経験したことにより、話の種として実習での苦労話をするなど組合員の方々とのコミュニケーションの幅が広がったように思います。今後は、日常業務以外の場面でも積極的に組合員のためになる活動を行っていきたいと思います。



金融共済多度志支所 金融共済課 中村 元 (平成31年4月入組)

①深川支所多度志地区 遠藤 良明 地区代表理事宅(農事組合法人米道産) ②令和2年5月18日～5月22日

③田植え作業

④苗箱をはがす作業では、手際よくできず大変でした。またほかの作業でも、重い苗箱を持ち上げたり、不自由な体勢だったりと体かなりの負担がかかったことが印象に残っています。

日常業務では、共済の話がほとんどですが、実習では共済以外の話ができ、また普段あまり接することのなかった奥様方や後継者の方々ともお話ししたり、自分の顔を覚えてもらえたりしたことはとても嬉しかったです。

今回の実習では、今まで話でしか聞いてなかった作業を実際に体験することができ、とても良い経験となりました。また、いつも自分が食べているお米が、どのような工程で生産されているかを学ぶことができ良かったです。遠藤地区代表理事をはじめ、従業員さんパートさんなど多くの方々とコミュニケーションをとることができ、とても楽しい実習でした。今後の業務ではより組合員と話しやすくなったと思います。





外来で遭遇するしこりは、腫瘍類似疾患、良性軟部腫瘍、軟部肉腫などがあります。良性軟部腫瘍は人口10万人当たり300人、一方軟部肉腫は10万人あたり2〜3人と100分の1程度である。しこりを見たときは悪性の可能性を念頭に置いて診断することが必要となります。臨床所見、画像所見から診断し、治療されることが多いが、臨床画像診断が難しいもの、皮下で5cm以上のものは生検による病理診断が必要になります。

代表的良性軟部腫瘍は (1)脂肪腫 成熟した脂肪細胞からなる、無痛性の柔らかい腫瘤として気づかれることが多い。50〜60歳代、中高年層に好発し、頸部、肩、四肢近位部に好発する。5cm以上のもの、腫瘍内信号が不均一なものは、生検が必要となります。(2)血管奇形 拡張した血管からなる。筋肉内血管腫の3分の2は出生時に指摘され、急速な経過をとることがある。残りは小児期から青年期に見られる。疼痛を繰り返す場合には手術になることがあるが境界がはっきりせず、再発することが多い。(3)神経鞘腫 末梢神経由来の腫瘍で90%は単発性に発生し、30〜50歳代に好発する。多発例は神経線維腫症2型患者に見られます。治療は外科的切除である。(4)神経線維腫 末梢神経由来の腫瘍で若年者に多い。皮膚の表在神経が好発部位である。ほとんどの症例は単発性に発生するが、多発例は神経線維腫症1型患者に見られる。小児期から発症し、常染色体優性遺伝でしばしば悪性化を認める。外科的切除する場合、罹患神経とともに切除することになり神経脱落症状は避けられない。(5)腱鞘巨細胞種 腱鞘、関節、滑液包などの滑膜から発生し、境界明瞭な結節性腫瘤を形成する。30〜50歳代、女性に多い。約85%は手指に、次いで足趾に発生する。治療は外科的切除である。

腫瘍類似疾患としてはガングリオン（結節種）が有名である。関節腔と関係ないものがガングリオンである。関節腔と関係あるものは滑膜嚢胞、滑液包炎と言われている。超音波検査ではガングリオンは均一な低エコー域として描出される。保存的治療で治癒率60〜90%と言われています。手術的切除の再発率は10〜40%（平均17・3%）と報告されています。しこりに気づいた時は整形外科で診察を受けてください。



JAグループ通信

JA北海道中央会



北海道教育委員会、北海道コンサドーレ札幌、北海道教育大学、JAグループ北海道の4者は、北海道の将来を担う子供たちが未来に向かってたくましく成長していくことを支援するため、子ども食堂の支援を行っております。しかし、コロナ禍において子どもたちが集まって食事をとることができないため、支援活動ができない状況が続いております。そこで、コロナ禍においても支援することを検討した結果、JAグループ北海道において、AGRI ACTION! HOKKAIDOの取り組みの一環として、食育動画を配信することといたしました。動画は3タイプあります。JAグループ北海道のホームページで公開しておりますので、是非ご視聴ください。また、お子様が動画を視聴していただき、保護者の方がアンケートに答えていただくと抽選で文房具のプレゼントがありますので、是非、こちらへの応募もお待ちしております！

①小学校低学年用
《北海道の農業》



②小学校高学年用
《食料自給率》



③中高生用
《食料自給率》



●QRコード



●URL

http://ja-dosanko.jp/supporter/movie_syokuiku/

JA北海道信連



北海道信連では、環境保全や地域美化の観点から、「NPO法人 北海道市民環境ネットワーク」が運営する「ラブアース・クリーンアップ運動 in 北海道」に参加し、事務所周辺の清掃活動を行っています。今年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響に留意したうえで、札幌では10月に市内の職員住宅周辺で実施いたしました。全道各支所においても、状況を見極めながら順次活動を実施しています。



JA共済連北海道



JA共済では、『自動車共済お見積りキャンペーン』を実施しております。インターネットに開設したキャンペーンWebサイトへご応募いただいた方の中から、抽選で総計12,000名様に家電などの素敵な賞品が当たります。キャンペーンは令和3年3月31日までです。この機会にJA共済のホームページにアクセスいただけますようお願いしております！

JA共済ホームページアドレス
<https://www.ja-kyosai.or.jp/>



ホクレン



ホクレンは、会員JA・生産者向けに発行している営農情報誌「アグリポート」と連動した動画情報などを提供する「アグリポートチャンネル」を「YouTube」に開設しました。URLは以下の通りで、新型コロナウイルスの影響により今年は現地開催を見送った「ホクレンフィールドデー」のオンライン版動画などもアップしています。

<https://www.youtube.com/channel/UC4Dt4CyXyMsKSVtofG4dprw>



JA北海道厚生連



組合員ならびに地域住民の皆様の生命と健康を守るため、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。年3回発行しており、様々な医療・健康情報を発信しております。秋号においてはプレゼント付アンケートのコーナーもございます。

是非、JA北海道厚生連のホームページをご覧ください。アンケートへのご協力をお願い致します。



JAグループ北海道の連合会・中央会の活動内容を紹介いたします。各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。



クロスワードクイズ

提供元:クロスワード.jp

1	2		3	4	5
			6		7
8					9
10			11		12
		13		14	15
	16			17	
18					19
			21		

A	B	C	D	E
---	---	---	---	---

10月号の正解は
「モミジ」でした。

正解者の中から抽選で3名が選ばれました。

- 深川市 高橋 公子 様
- 深川市 宮田 美加 様
- 深川市 藤川 昌子 様

【タテのカギ】

- 2 年を取った人、老人
- 3 金属元素のひとつ、元素記号は「Fe」
- 4 時の区切り、時の間や長さを計る単位
- 5 米や麦を炊いたもの、釜○○
- 6 集会・会合・宴会などに用いる目的で建てられた建物
- 8 人生・宗教・政治などに対する一定の考え
- 9 動物が越冬するために土や穴の中で眠ること
- 12 十の百倍
- 13 人や品物を他の場所に運び送ること
- 15 人間が飼育して利用する獣類、牛や豚、鶏、羊など
- 16 頭部の前面、目や鼻、口が付いている場所
- 17 無線で音声を送受信するメディア、FM放送・AM放送など
- 18 1万の1万倍
- 20 地球の唯一の衛星、ムーン

【ヨコのカギ】

- 1 日本で広く用いられる寝具のひとつ
- 3 物事を始める最初の段階
- 6 刺激を与えて元気づけること、○○を入れる
- 7 貸すこと、また貸した金品、⇄借り
- 8 文字を書いたり印刷したりするときの字や活字の形のこと、フォント
- 9 重さの単位、15,000キログラム=15○○
- 10 雪や氷の上を滑らせて走る乗り物・運搬具
- 11 月曜→○○○→水曜
- 13 めぐり合わせ、ラッキー
- 14 コタツの上に置かれる定番の果物
- 16 飲み物や保存性の高い食品が入られる鉄の容器
- 17 昼食を英語で
- 18 年末に大々的に行われる掃除の事
- 19 スニーカーやブーツ、下駄などの履物の総称
- 21 耳を使って聞くもの

応募方法

正解者の中から抽選で3名様に農協全国商品券をプレゼント。ホームページ応募フォーム・ハガキ・FAXで①クイズの答え②住所、氏名、年齢③身近な出来事④農協だよりに対するご意見ご要望を記入の上ご応募下さい。

締切12月31日消印有効で当選者とクイズの答えは令和3年2月号に掲載します。

【送付先】〒074-0022 深川市北光町1丁目10番10号

JAきたそらち総合企画室企画広報課 FAXの場合は 0164-22-8611

【ホームページ応募フォーム】URL: http://www.ja-kitasorachi.com/application_form/

※ご本人以外による応募は抽選の対象外とさせていただきます。

十一月俳句

●雨竜俳句会

満月や無言がひかる名演技
幾重にも雁の棹行く茜空
栗おこわ箸よりこぼすこと多し
人はみな命の重み知る夜長
刈田跡親子豊かに影伸ばす
ランニング今日は長めに秋麗
田を眺め稔り確かめ親子鹿

有田 茉莉
大林アヤ子
北川 満江
小山 邦男
松木 五月
宮武めぐみ
吉見サヨ子

●「道」俳句会 北竜支部

拓地祝ぐ師の句数多や冬銀河
岩根の根の奥豊か朴落葉
悪しき人そもそもおらず神在月
労いの言葉に案山子領けり
老いの目にスマホで見れる紅葉かな
はらはらと朝日に照りてつた紅葉

山本 玲子
阿部れい子
吉尾 広子
山岸 正俊
山下 好晴
中島 雅子

●土筆俳句会

鶏三羽放し飼いする婆の冬
荒縄の大根十本凭れ合ふ
大根が一番うまし大き鍋
枯菊の残すも刈るも今少し
鉄冷え房切る畑に星の降る
句碑の道かさかさかささと落葉踏む
秋の虹見つけて嬉し夢の跡
思い出を連れた大根里土産

高尾美津子
池田 美知
山川 輝子
南川富美子
佐藤英三子
滝口富美子
菅原 優子
小橋 厚子

第11回理事会 〈令和2年11月5日開催〉 以下の事項について決議・承認されました

1. 関係団体等諸会議について
2. 内部監査報告について
3. 組合員の加入脱退について
4. 財務報告及び事業実績について
5. 令和2年度出資増口について
6. 不祥事未然防止に係る自主点検について
7. 営農懇談会日程及び非常勤理事の他地区懇談会への出席について
8. 職員の人事及び業務事故について
9. 営農センターの増築について
10. JAきたそらち20周年記念誌の編集について
11. 貸出金の貸付報告について
12. 経営継続補助金一次公募結果と今後の取り組みについて
13. 高収益作物次期作支援交付金 運用の見直しについて
14. 令和元年度（補正）畑作構造転換事業の取り組みについて
15. 主食用米の需給対策について
16. 令和2年産 米集荷状況について
17. 令和2年産 農産物集荷状況について
18. 畜産物の販売状況について
19. 青果・花き販売集荷実績について
20. R2農薬予約奨励金の支払いについて
21. R3農薬・温床資材予約推進について
22. 経済部事業実績について

議案第1号 組合員の出資金持分譲渡について
 議案第2号 貸出金の貸付決定について

報告事項

提出議案



組合員の動き

(令和2年10月末日)

		当期首	加入	脱退	当月末
正組合員	個人	1,376	12	42	1,346
	団体	87	2	0	89
准組合員	個人	5,903	52	56	5,899
	団体	317	1	4	314
正組合員戸数		988	1	24	965



JAきたそらち太陽光発電所 発電実績

○令和2年10月実績

○累計（R1.12～R2.10）

発電電力 **41,441kWh**

発電電力 **522,749kWh**

計画対比 + 10,916kWh

計画対比 + 119,785kWh

前年対比 △ 2,840kWh

前年対比 △ 6,693kWh

金融共済部 共済課からのお知らせ

火災共済ご加入の皆様へ

建物更生共済がご加入しやすくなりました！

建物更生共済

むてきプラスのポイント

少ない掛金負担で **大きな保障**が可能となりました！

満期共済金の最大30倍まで保障！

実損てん補方式のため、加入金額まで損害の額が保障されます！

※ 地震等による損害を除きます。



むてきプラスと火災共済とは **保障の範囲がこれだけ異なります！**

	火災などのとき 火災・落雷・盗難など	台風などのとき 風災・ひょう災・雪災・水災	地震・津波	地震などのとき 火山の噴火	地震による火災	満期のとき 満期共済金
建物更生共済 むてきプラス	○	○	○ <small>※ 損害の額の50%を限度</small>	○ <small>※ 損害の額の50%を限度</small>	○ <small>※ 損害の額の50%を限度</small>	○
火災共済	○ <small>※ 盗難による損害は対象外</small>	×	×	×	△ <small>※ 半壊以上の場合、兵庫支店0%</small>	×

満期共済金があって、この掛金！
さらに、お払込共済掛金は **地震保険料控除**の対象に！

ご契約例^{※2}＜住宅保障プラン＞

- 住宅物件（建物）
 - 臨時費用共済金の支払割合 30%
 - 保障期間 30年（継続回数 2回）
 - 実損てん補特約付
 - 協定共済価額 2,000万円
 - 共済期間 10年
 - 口座振替扱い
- 満期共済金額100万円 火災共済金額2,000万円**

	耐火造A	耐火造B・C (省令準耐火)	木・防火造
月払掛金	5,891円	6,671円	10,069円
年払掛金	67,661円	76,755円	115,692円

ご契約例^{※2}＜家財家具保障プラン＞

※1、※2 令和2年4月現在の法令・掛金率等に基づきます

- 住宅物件（住宅内収容家財）
 - 臨時費用共済金の支払割合 30%
 - 保障期間 30年（継続回数 2回）
 - 共済期間 10年
 - 口座振替扱い
- 満期共済金額50万円 火災共済金額1,000万円**

	耐火造A	耐火造B・C (省令準耐火)	木・防火造
月払掛金	2,980円	3,222円	4,524円
年払掛金	34,281円	36,998円	52,017円

※共済金のお支払いには、所定の条件がございます。詳しくはJAまでお問い合わせください。
※この資料は概要を説明したものです。ご検討にあたっては、「重要事項説明書（契約概要）」を必ずご覧ください。また、ご契約の際は、「重要事項説明書（注意喚起情報）」および「契約のしおり・約款」を必ずご覧ください。
＜20019990033

お問い合わせは

JAきたそらち

本 所 TEL 0164-22-6619 多度志支所 TEL 0164-27-2111
香江支所 TEL 0164-25-1111 雨竜支所 TEL 0125-77-2331
深川支所 TEL 0164-22-2171 北竜支所 TEL 0164-34-2280
納内支所 TEL 0164-24-2211 横加内支所 TEL 0165-35-2024

JA共済